

社会に飛び出て実感・体感自分を磨く。

サービス・ラーニングは、短大での学習と、地域で行われる有意義な奉仕活動を組み合わせた
教授・学習・省察のための方法論。つまり、実践を座学や省察と結びつけることによって、市民としての
責任を教え、「生涯にわたる地域への貢献を育み、地域の結びつきを強化するものです。

「何ができる？」と悩んじゃダメ!! ベストな選択を導く、潜在力の探し方。

短大生はまだ半社会人、「今」ではなく、「これから」何ができるか?をじっくり探す最後のチャンス!
可能性は鍛えればまだまだ∞!自分の中に眠っている潜在力を引き出して果敢にチャレンジしましょう。

{01} 保戸島を撮る

津久見市保戸島で行った写真展が、大きな反響を呼んで10月14日、閉幕しました。学生作品約100点のほか、津久見市在住の写真家・上野福男さんが保管していた昭和30年代の白黒写真も、島民の関心を呼びました。「当時、島にいたお医者さんが撮っていた。歴史を感じさせる」と、上野さん自身も感嘆の声「会場の下見が台風で中止になり、前日しか展示準備が出来ずなくて焦った。島民の皆さんと協力して、楽しい写真展が実現できました」



{02}

{01} 竹田食育 ツーリズム研修

竹田市で7月、2日間にわたり「竹田食育ツーリズム研修」が開催され、情報コミュニケーション学科の学生19名が参加しました。食育ツーリズムの取り組みでは全国の先頭を走る竹田で、地域の実情を知り情報発信に役立てることを目的に、農家民泊、生産者との交流やとうきびフェスタでのボランティア活動を行いました。行程の最初からブログを立ち上げ、各自の携帯でブログに掲載。リアルタイムでみんなに感じたことや気づいたことを見てもらえるようにしました。



こども職業体験 わくわくワークランド

11月4日大分青年会議所主催 まちなかこども就業体験「おおいわくわくワークランド」これは働くことを体験する中で、子ども達の成長を促し、地域社会を担う人材を育成することを目的に初めて企画されたイベント。大分活性化ネットワークを通して学生たちがサービラーニングに参加しました。小学生の子供たちが新聞記者やケーキ職人、ウエイトレスになりきって、実際のお店で働く貴重な体験を多くの学生がスタッフとしてサポートしました。



森林セラピー トレイル・ランニング

リラクゼーション効果や免疫機能の改善など予防医学的效果が期待されている森林セラピー。用意されたのは、①大分市の最高峰『鍾ヶ岳』の山岳コースと平成森林公園全域を走る、自然を満喫できるバラエティーに富んだコース。②『鍾ヶ岳』の山岳コースからなる源流の森や公園内の自然散策道など、トレイルを中心にレイアウトされたコース。③トレイルランニング初心者や自然をゆっくり満喫したい方にふさわしい、安全で楽しめるという3つのコース。学生たちは、ランナーの様子を、10か所で動画と静止画を撮影。写真は、ワサダタウンで展示され、動画はインターネットにアップされました。



{05}

{04} 夢色音楽祭

「おおい夢色音楽祭」は「まち」全体がステージです。音楽のジャンルも出演者の年齢も、経験も国籍も問いません。「思い」さえあれば、みんなが主催者でみんなが主演。5回目となる今回は10月6日(土)、7日(日)に開催。今年も大分のまちなかに、数多くのストリートステージを設置、たくさんのミュージシャンがさまざまなパフォーマンスを繰り広げました。MC(司会 master of ceremonies)で3名が参加、初めての学生もいて緊張しながらも貴重な体験をさせていただきました。運営ボランティアの学生も街角で様々な人とのふれあいを体験しながら音楽を楽しんでいました。



{03}

正しい方向に導いてくれる「好奇心」がキーワード! 夢中になっているわけじゃない。でも手ヨツチ気になる。そんな好奇心が、あなたの人生を大きく広げる可能性を秘めています。 食べたり飲んだり味はわかりませんが、トライアンドエラーは若者の特権! サービス・ラーニングは、一年を通じて、多彩なプログラムを用意して、あなたのチャンスを広げます。百年先の未来を思って、大地に木を植える。街頭での募金活動。地球にちよと優しくしてみる。体を動かして、頭を使って、人と触れ合い、社会に参加する。ポイントは、未知の世界への挑戦です。躊躇わずに進めばきっと発見がある筈です。 二年という就学期間は、高校までとは経験したことのない短さです。新入生の翌年には最上級生となってしまふ短大の一年はボンヤリしているアツという間に過ぎ去ります。 それだけに「何をやるか?」という選択には慎重になるかもしれませんが、でも一歩踏み出す「大胆さ」も重要です。「生徒」から「学生」となったのですから、自分の背中をちよと押して、新たな自分を見つけてください。あなたの未来は、あなたの中にもう芽生えています。 大人と接して、社会を知る。新たな出会いが未来を築く。 先生を除けば最大でも六歳の違いしかなかった小・中・高校時代。実社会には、もっと都市の離れた大人が大勢いて、それぞれの世代が多く役割を担っています。 いずれはあなたもその一員になる

そんな大人社会を体験できるのも サービス・ラーニングの魅力の一つです。見学するのはありません。役割を担って参加するのです。そのために必要なのが「目的意識」! 「大分市の中心街で二万七千個の風船を飛ばす」毎年夏に行われるこのイベントに参加した多くの学生が大半の時間を費やすのは風船を膨らます作業です。ポンベに入った空気より軽いガスをひたすら風船に送り込むことも何も考えずに行える単純なものかもしれませんが、でも百人がかりで六時間を要します。人件費だけでも時給七〇〇円なら、四二万円にもなってしまう。夜空に上がって、数分後には見えなくなってしまうものにそれほどの価値があるのか?と考えることが重要なのです。暑い夏の夜、中心街の車道に集まった多くの人が、舞い上がる色とりどりのたくさんの風船と一緒に見上げることに意義を考えるのです。千人以上の人が同時に「きれい!」と思うことの意味を考えます。その中には、三歳の子供も九〇近いおじいちゃんも一人でぼんやり見上げている人もいるかもしれません。でも皆が、同じ空を見上げ、同時に「きれい!」と感じることが大切なのです。誰も、誰か風船を膨らませたか?なんて考えもしません。でも誰かが、やらなければ、その美しさは生まれなかつたのです。それはもしかすると、お金には換算できない行為なのではないでしょうか? キーワード: チェック 省察(せいしやく)って何? 自分自身をかえりみて、その良しあしを考えること。「目の行動を省察せよ!」

CASE 4 気になる だけど、試せない。

あなたの前にも多くの先輩が経験している活動です。あなたにできない苦がありません。重要なのは「気になっている」という事実です。「絶対」でもなく、「どうしても」でもない。その「何気なさ」の中に、未来の可能性が潜んでいます。その扉を開けるきっかけが、サービス・ラーニングなのです。

決められない。

新しいことに挑戦するにも勇気が必要です。何かきっかけが欲しいのは皆同じ。そんな勇険に取り組めば単位が貰えるのです。打算のつもりでも、でも、トライしなければ何も始まりません。一つ一つの活動に意味があるからこそ、プログラムに入っているのです。

CASE 5 冒険したい、 でも...

CASE 3 後一歩踏み出すことを、 躊躇う。

乗り越えてみれば立ちだかっていた「壁」が、それほど高くなかった。そんな経験は誰にでもある筈です。あなたを待っている様々な活動は、それぞれ大きな意義を持っています。まず参加して、物足りないと感じたら改善するチャンスも訪れます。躊躇っている場合ではありません。扉を開く時です。

なんか恥ずかしい。

ボランティアという言葉に「偽善」を感じてしまふのはあなただけではありません。一人で参加するのは勇気のいることです。でも、友達と一緒に参りましょう。街頭で大きな声を出して募金を募るのは大変です。でも二人なら、あなたの声がきこえ、誰かを救うのです。

CASE 2 良いことだと思っけど、 入りにくいスポット。

一度は訪れたいと思っけても、入るにはちよとと気遣わなければならない。見学するのはなく、当事者として関わってみたいスポット。生放送のスタジオやイベントの舞台裏。役割を担って入りづらい、そんな場所にあるあなたを導いてくれるのがサービス・ラーニング。きっと、同じ景色が違って見えます。

CASE 1 なんとなく 入りにくい スポット。

潜在力から ベストな選択が できる!

潜在力を見つけるヒントは、ちよと気になる好奇心! いつものなら選ばないけれど、機会があれば試してみたい! わざわざ自分で行く気はないけれど、連れてって欲しいなら!